皆様のおかげで当組合財政は落ち着いています

健保だより

デンカ健康保険組合

2月16日、新型コロナウイルス感染防止の為ZOOM会議にてデンカ健康保険組合会が開催され、令和3年度予算について審議されました。

令和2年度は保険料収入が予算比5千万円の増加、加入者の皆さんのご協力により医療費が予算比△7千万円となり、差引収支は約2億円の黒字になる見込みです。

令和3年度は医療費が前年度比増となる見込みであるものの、国への納付金が前年度比約3億円の減となり、保険料率を引き下げても収支バランスを確保することが出来、なおかつ不測の事態に備えた資金が確保出来ていることから、健康保険料率を引き下げます。一方、介護保険は昨年度に続き納付金が前年度比大幅増となり、現料率では赤字となることから、料率の引き上げが議決されました。

また、かねてより加入者からの声が多かった「がん検診補助額増額」及び「脳ドックの追加、人間ドック補助上限額増額」も議決されました。

今後とも医療費並びに納付金の増加が懸念される状況下、当組合と致しましても、医療費や納付金節減に注力致しますので引き続きご協力をお願い申し上げます。

健康保険料率は引き下げ、介護保険料率は引き上げます

健康保険 8.4%（△0.4%）　介護保険 1.8%（+0.1%）

「がん検診」、「人間ドック」の補助上限額及び補助項目を拡充します

「がん検診」

令和3年4月1日受診分より、年度補助上限額を10,000円から30,000円に引き上げ、検診補助項目に「子宮頸部細胞診」及び「経膣超音波」を追加します。

「人間ドック」

令和3年4月1日受診分より、脳ドック単独の受診も補助対象とします。但し、人間ドックと合算し、「日帰り:70,000円、1泊2日:76,000円」を年度補助上限額と致します。

各種届出書類の押印を廃止します

厚生労働省保険局長通知に基づき、令和3年3月1日より本人・事業主の押印を廃止します。
（傷病手当金請求書等の一部届出について、医師証明欄の押印も廃止します。）
詳細は当組合ホームページの各種届出書類をご参照下さい。

理事長挨拶

組合会Zoomでの議決の様子